

令和5年度第1回花巻市総合計画審議会（会議録）

1 開催日時

令和5年11月17日（金）

午後3時30分～午後5時00分

2 開催場所

花巻市花城町9番30号

花巻市役所 3階 302・303会議室

3 出席者

■委員出席者：11名

中村良則会長（学校法人富士大学副学長）、高橋豊委員（花巻商工会議所会頭）、高橋照幸委員（社会福祉法人花巻市社会福祉協議会会長）※Web出席、浅沼由美子委員（花巻市地域婦人団体協議会副会長）、佐々木博委員（一般社団法人花巻観光協会会長）、富澤正一委員（花巻市区長会会長）、伊藤清子委員（花巻市食生活改善推進員協議会会長）、関原信大委員（一般財団法人花巻市体育協会事務局長）、熊谷仁見委員（花巻市大迫地域協議会会長）、菅原康之委員（花巻市石鳥谷地域協議会会長）、松葉孝博委員（花巻市東和地域協議会会長）

■委員欠席者：9名

漆沢俊明副会長（花巻信用金庫理事長）、高橋利光委員（花巻農業協同組合代表理事組合長）、伊藤智仁委員（花巻工業クラブ会長）、鎌田哲暢委員（花巻市PTA連合会会長）、中舘一郎委員（一般社団法人花巻市医師会会長）、佐藤貴哉委員（公益社団法人花巻青年会議所理事長）、中島健次委員（花巻市芸術協会会長）、川村厚委員（花巻市地域自治推進委員会会長）、村上純委員（連合岩手花巻北上地域協議会事務局長）

■市側出席者：2名

上田東一市長、岩間裕子総合政策部長

■事務局：5名

総合政策部秘書政策課総合計画策定室（富澤室長、村田次長、伊藤主任主査、菊池主査、川村主査）

4 会議内容

（1）開会

本日の審議会は委員20名中11名出席につき、花巻市総合計画審議会条例第4条第

2項の規定に基づき、過半数の出席により本審議会が成立することを事務局より報告。

(2) 市長挨拶

【上田市長】本日はお忙しい中、令和5年度第1回の総合計画審議会にご出席賜りましてありがとうございます。

皆さんご存知のように、今花巻市では8年間の第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンを策定中でございます。これにつきましては、昨年の5月に「次期花巻市総合計画策定の基本方針（案）」について答申いただき、それから今年3月に皆様からご審議いただきまして、長期ビジョンの骨子についてご承認いただいたものでございまして、それについて市民説明会あるいは各関係団体等にお話をさせていただいたり、あるいは昨年ワークショップに参加いただいた方にご説明した上で再度意見をお聞きしたりと、市民の皆様のご意見を反映させる形での素案が出来上がったところであります。

先日も議会に説明させていただきましたけれども、本日は審議会の皆様にご説明申し上げた上で、ご意見を賜りたいということでございます。市の今後8年間の方向について決める重要な長期ビジョンでございますので、皆様の忌憚ないご意見を賜りますようお願いいたします。

本日はお忙しい中ご出席いただきましたことに感謝申し上げ、慎重な審議についてお願い申し上げます。

(3) 議事

【中村良則会長】議事を進めさせていただきます。第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）について担当課より説明願います。

- 富澤室長から、資料No.1「第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）【概要版】」及び資料No.2「第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン（素案）」に基づき、第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン素案の概要並びに資料No.3「第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョン骨子（構成）」に基づき骨子の一部変更について説明。

【中村良則会長】提出されたのは素案ということで、これがパブリックコメントに付す最終的な案になる。

細部に渡るため、資料No.2の序論から、何かご意見等ございますでしょうか。

（意見等なし）

【中村良則会長】それでは資料No.2の第1章、花巻市まちづくり総合計画（前計画）の評価について何かご意見等ございますでしょうか。

【松葉孝博委員】前計画の達成状況のA、B、C、Dというのは何を示しているのか。

【村田次長】ただいまのご質問の政策・施策の評価のA、B、C、Dの評価の基準についてお話させていただきます。資料No. 2の11ページをご覧ください。

こちらに「政策の達成状況の基準」とありますけれども、前計画におきましては、21の政策がございまして、それぞれの政策に成果指標を設けております。その成果指標の達成度合をもってA、B、C、Dという区分をしておりますが、11ページにございますように、政策において1つの指標のみを設けているもの、あるいは複数の指標を設けているものとありまして、全てあるいは半数以上というのは指標の数の設け方によるものでございます。Aは全ての達成状況が100%以上の達成率だった場合。Bにつきましては達成率90%以上、そしてCにつきましては複数の指標がある場合には半数以上の達成率が90%以上だった場合。そしてDの基準は半数以上が90%未満だった場合というような形で基準を設けております。12ページには、施策について同様に基準を設けておりまして、その評価の状況が政策であれば7割強、施策であれば6割強が達成しているとまとめております。

【富澤正一委員】資料のNo. 1の2ページにおける前計画の達成状況についての説明についてご質問させていただきます。

左側の円グラフの下に19の政策中（評価時点で最新の数値が未公表の2つの政策を除く）と書かれております。長期ビジョンをこのように出すわけでございますので、ここは未公表という表現ではなく、発表する前に全部成果が出ないのででしょうか。それから右側の円グラフの下に65の施策中（成果指標設定対象外の7つの施策を除く）と書かれております。市民としても成果を見るときには数値で示された方が非常にわかりやすいと思いたすのですが、この7つの施策は数値で表すのが難しいために除かれるという意味でしょうか。そのあたりを説明いただきたい。できるならば指標の数値化をした方がいいかなと思いたす。

【村田次長】はい、ありがとうございます。1点目の政策についてですが、21の政策のうち19のみ評価を行ったということございまして、残り2つの事業につきましては未公表ということでしたけれども、この政策や施策の評価を行ったのが、令和4年度の時点でございます。令和4年度に評価を行った時点ではまだ統計の数字が出ていなかったという事情がございまして、評価報告書としてまとめる時点で数字が公表できていないものとして表示しております。それから2点目の施策の評価対象外というのは、お話いただいた通り、数字で指標を測ることが難しいというようなことで、前計画を作った段階から成果指標を設けていなかったものでございまして、今回新しい計画におきましても、現在成

果指標の検討を行っているところでございますが、指標の設定ができるかどうかにつきましては、ご意見をもとに検討させていただきたいと考えております。

【富澤室長】ご意見ありがとうございます。補足をさせていただきますけれども、資料No.1の2ページ目の政策・施策について、評価報告書を作るにあたりましては、評価するにあたりいつかの時点を基準にしなければならなかったということであります。そして、令和5年3月に報告書をまとめ、公表いたしました。

報告書の作成以降については当然時間が経過してくれば評価結果は出てきますけれども、報告書から長期ビジョンに引用してきているために、このような掲載になっているということをご理解いただければと思います。

【中村良則会長】例えばこれは素案の段階ですので、最終的な計画案が次の機会に改めて諮問されることになる。そのときもこの数値のまま提案されるのか、それともグラフで示すのは難しいと思いますが、補足的に数値を示したものを提案されるのか、どのような考えでしょうか。

【富澤室長】素案から案に行くまでに少し検討させていただきたいと思います。本編はこのままとしながら、既に出ている結果については補足して説明するなどの形になるかもしれませんが、いずれ検討させていただきたいと思います。

【中村良則会長】市民に公表するときには厚い本編のほかに補足資料をつけるという考えもあるのではないかと思います。ご検討頂ければと思います。

それでは資料No.2の第2章、まちづくりの視点のところについてご意見等あればお願いいたします。

例えば財政運営の基本的な考え方ということで見通しの部分でしょうか。今後も見通しは外れない、いわば健全といえるのでしょうか。

【村田次長】資料No.2の25ページから27ページまでのご指摘について、総じて申し上げると現在のところ花巻市としての財政状況は良い方だと捉えておまして、25ページから27ページに掲げているような方針で、今後も財政運営に留意しながら取り組んでいくということによって健全な財政と持続可能な運営ができるという見通しをさせていただいておまして、具体的な数字という形では載せてございませんが、数字についてはこの長期ビジョンのあとに策定するアクションプランの中で事業の積み上げによって今後計画期間中の財政の見通しというものを示していきたいと考えております。

【高橋豊委員】経常収支比率について細かい数字ですが、令和元年が92.7%とありますが、具体的な状況についてご説明いただきたい。

【岩間部長】大まかなこととしてお答えしますが、歳出の削減としては、公債費の縮減が大きい要因であると思っております。合併特例債や過疎債といっ

た交付税措置率が高い地方債を使っていることで、市の負担はあまり多くないという状況を生んでいます。

(追加説明) また、ふるさと応援寄附金の増加により、経常経費にこの寄附金を充当することができ、それにより一般財源の持ち出しが減少したことで、財政運営の自由度が増しているもの。

【高橋豊委員】あまり良く分からないので、別の機会にまたお聞きする。

【中村良則会長】ほかにいかがでしょうか。次に移ります。資料No.2の第3章、将来都市像について、「豊かな自然 安らぎと賑わい みんなでつなぐ イーハートーブ花巻」ということですが、これは市民の皆さんからの意見によるものですので特によろしいでしょうか。

(意見等なし)

【中村良則会長】では続きまして資料No.2の第4章、まちづくりの基本方向についてご意見等いかがでしょうか。

【佐々木博委員】資料No.2の39ページ、観光の振興ですが、「目的地をスムーズに移動できる環境を整備し」、という文言がありますが、今観光客は個人のお客様が多いので、基本的に団体客であれば観光バスであちこち行けるのですが、個人のお客様は基本的にタクシーを利用すると思われま

す。今タクシーの問題で、車はあるけど運転手がないといったように非常に喫緊の問題がありますが、こういうものを含めて目的地をスムーズに移動できる環境整備ということで理解してよろしいでしょうか。

【富澤室長】交通手段についても具体的な方策というのは、アクションプランに含まれてくるかもしれません。これまでは例えばスムーズな目的地への移動や、目的地を見つけやすい看板の表示などを指してきましたが、今のご時世それだけではなく、例えばカーナビで探索して目的地にたどり着けるほか、時間のかからないルートを選択にあたってすごく狭い道に誘導されることもあるようで、機能的な部分も何かしらの手を打つとすれば、恐らくアクションプランの中には入るのかなと思いますので、委員ご指摘の交通手段についても含まれるのではないかと思います。

【中村良則会長】ほかにいかがでしょうか。それではですね、資料No.2の第5章、重点施策推進プロジェクトに進みます。次期総合計画の政策的課題の部分であろうと思います。事務局からこの2つのプロジェクトについて補足があればお願いします。

【富澤室長】このプロジェクトにつきまして、人口減少は事実として何とも止められないという状況にありながら、当市の場合は過去にもお話したかもしれませんが、令和元年からこの4年間社会増を何とか保っているところです。

令和元年はお隣の北上市のキオクシアの新工場稼働という特殊要因はあった

ものの、その翌年以降の令和2年、3年、4年も継続して社会増と転入者の方が多い状況でございます。それはこれまでの市が行ってきた子育て支援施策や移住定住支援施策などの取組が、少なからず要因となっているものと考えておりまして、重要課題を人口減少とし、プロジェクトとしているということで、人口減少の中にあっても、そのスピードを何とか緩めたいということで、第2次花巻市まちづくり総合計画ではこれまでの計画にはないこの位置づけとして、6つの分野の政策に横串を刺してそれをこのプロジェクトとして、最優先で行っていこうというものでございます。

【中村良則会長】1つ目は子ども・子育て、妊娠・出産の支援などイメージしやすかったが、2つ目の花巻で暮らそうプロジェクトは移住・定住を促進させようという考えなのか、それとも移住・定住はそのとおりだが、花巻に住んでいる若い人たちが住みやすい街にする、あるいは支援する考えなのか。両方なのかかもしれないが、具体的に誰を対象としたプロジェクトなのか教えていただきたい。

【村田次長】対象につきましては、移住・定住者はもちろん、また花巻に現に住んでいらっしゃる方に対しても、このプロジェクトを進めていき、花巻に来ていただくという視点と、これからも花巻に住み続けていただくというよう形での施策ということで捉えてございます。また特に若い方々が花巻市に住んでいただく、あるいは一度花巻を離れられた方につきましても、やはり将来的には花巻に戻ってきていただいて、花巻に居住あるいはお仕事等で活躍していただくということで、お仕事しやすい環境作りも含めて、重点施策プロジェクトの中で取組を進めていく。具体的には、やはり施策や事業の話となりますので、アクションプランの中でこういった取組を進めていますということはお示しすることとなりますけれども、花巻市に移住してくる方あるいは花巻市に現に住んでいらっしゃる方に対して、花巻で住み続けるあるいは花巻に住むような政策を進めていきたいというところがこのプロジェクトの趣旨でございます。

【中村良則会長】一度若い人はまちを離れて、東京などで暮らしてみたいというのは自然のことですね。人口が減少していく一つの大きい要因は出て行って帰る人が少なくなってきたということでしょうけれども、出て行っても帰ってくるように花巻の良さを理解して愛着を持つよう教育していくことが大切でしょう。また、東京などに出た人が帰ってきやすいように外部の人とネットワークを強く積極的に結んでいくことも重要である。そういう意味で一番最後のところ、シビックプライドの醸成という言葉がありますが、こういうところが非常に重要な取組であるのでよく注目したなというのが僕の意見です。

【佐々木博委員】文言の質問ですが、40ページの市内企業への就業の促進の文章の中で労働者が求めるジェンダーギャップの解消とありますがこれはいわゆる男

女格差の解消という理解でよろしいでしょうか。

【富澤室長】そうです。労働者の主に性別という意味合いで記載したものです。

【佐々木博委員】それであれば男女格差という日本語の文言があるので、そちらの記載のほうが理解できるかなという意見です。きっとこれは何だろうと思ってスルーしている人は多いと思う。

【富澤室長】検討させていただきます。

【中村良則会長】資料No.2の後ろのほう、参考資料の115ページの用語解説には載っておりますが、男女格差が一般的ですかね。

【富澤正一委員】資料No.2の8ページに市の政策に対する市民意識というところに私いつも気にかかるのですが、政策の不満度というところで、商業の振興が突出して不満となっておりますが、それに対していろいろ政策やら施策などが述べられております。第3期の中間プランの項目とここに挙がっている項目と言葉は同じになります。

何を言わんとしているかということ、今までの第3期中期プランよりも、少し深めた施策が1つぐらい入っているか、あるいは何か施策をやるときにこういう形でやろうと行政の方々が具体的に考えているのかということです。非常に花巻にとって難しい問題です。今市街地や商店街は空き地が出てくるなど大変な状況です。長期ビジョンの中では商工業の振興については4つ掲げられていますが、ここは第3期中期プランと同じなんでしょうか。

【中村良則会長】文言として増えたかというご質問でしょうか。資料No.2の38ページにはリノベーションの推進やDXなどの文言も見て取れますね。

【村田次長】はい、ありがとうございます。今お話をいただきました資料No.2の8ページ及び9ページで政策の満足度とか重要度という形で、21の項目について評価をしていただいたというのが市民アンケート調査です。この1から21というものが前計画、いわば今の計画でございますが、その中で進めている21個の政策ということでございます。

そして新しい第2次まちづくり総合計画におきましては、資料No.1の4ページと5ページ、中ほどのところを取組の方向ということで、1-1から6-2まで20ございますが、これが新しい計画における政策ということで、前計画が21の政策に対して今回は20の政策ということで載せてございます。その中で、同じ政策の名称になっているものもございますけれども、やはり10年経過したということもございまして、今の社会に適した表現をしている政策もございまして、あるいは複数の政策を一つに統合した方がより充実できるのではないかとということで政策を統合して進めようとしているものでございまして、こういった形での取り組みを前計画の評価も踏まえて新しく検討した形で政策を組み直しているということでございます。施策についても、アクションプランの中でこれ

から検討いたしますけれども、現在の中期プランでの状況も踏まえながら新たに事業として起こすものとか、あるいは継続して取り組みをしていくような施策というような形で進めていきたいと考えているところです。

【中村良則会長】時間が近づいてまいりましたがほかにありますか。

【高橋豊委員】参考資料を見ていて、114ページに子どもの貧困という記載がある。ひとり親家庭で生活が厳しいなどで、物価高もあり食費が苦しいそうである。子どもたちは学校が休みになると給食が出ないので痩せていくとかなり厳しい家庭も出ている。私はロータリークラブで一部子ども食堂の支援をしていますけれども、やっぱり子どもの貧困は増えてきています。こういう計画書には盛り込むのは難しいですけども、あらゆる面で生活が厳しくなっているし、私が個人的に最近一番気になるのは、これは厚労省の方の考え方ですけども、日本の食品添加物というのは1,500種類もあって世界で一番多いといえます。ヨーロッパはかなり少なく、日本の食品はヨーロッパに輸出できないものが多いという。そういうものを我々は日常的に食べているわけです。子どもたちも発達障害が少しずつ増えてきていていろんな課題となっている。今日の議題と少し離れるかもしれませんが、やはり健康づくりという意味で何らかの形で市のほうでも考えてもらいたいと思います。

【中村良則会長】重要なポイントをついた意見でした。そういうまちを目指していくにあたって具体的な食育などを進める必要があるというもの。

【富澤室長】ありがとうございます。例えば子どもの貧困対策というのはまさに今回の重点施策推進プロジェクトの中の子ども・子育て応援プロジェクトにあたるものです。例えば資料No.2の73ページの④番、ここに子どもの貧困対策、子ども食堂ですとかフードパントリーへの支援などを掲載しております。こちらにつきましては、団体等の動向や意向を踏まえまして、具体的に何をやるかというのはアクションプランで位置づけていこうというものでございますし、先ほどの食育というお話は、今の計画の中でも健康づくりの支援という施策の中で、具体的な事業に取り組んで行くこととございます。

【中村良則会長】それでは以上をもちまして本日の議事は全て終了いたします。委員の皆さまどうもありがとうございました。

(4) 閉会

【伊藤主任主査】委員の皆さま、長時間にわたり、ありがとうございました。事務局から何か連絡事項があればお願いします。

【富澤室長】委員の皆様、ありがとうございました。冒頭の説明でも少し触れましたが、今後のスケジュールについて、来週からパブリックコメントを開始させていただきます。会長をはじめ委員の皆様方におかれましては年明けに長期ビ

ジョンの素案についての諮問、そして答申をいただきたいという会議のご案内を送らせていただきますので、その機会にはまたご出席を賜りますようお願い申し上げます。

【伊藤主任主査】 これをもちまして、令和5年度第1回花巻市総合計画審議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。